

○東洋英和女学院大学学則

昭和63年12月22日
認可

第1章 総則

(目的)

第1条 本学は、教育基本法（昭和22年法律第25号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づき、自由にして敬虔なる学風の下に深く専門の学芸を教授研究し、職業及び社会生活に必要な教育を施し、キリスト教精神による人間形成を重んじ、敬神奉仕と国際性に富む女性を育成することを目的とする。

(名称)

第2条 本学は、東洋英和女学院大学という。

(位置)

第3条 本学は、神奈川県横浜市緑区三保町32番地に置く。

(教育の特色)

第4条 本学は、その教育の特色として、キリスト教関係科目を設けるとともに、キリスト教行事を行う。

(学部等の目的・教育目標)

第5条 本学は、第1条の目的を達成する為、学部、学科ごとに、人間形成上の目的・教育目標を以下に定める。

人間社会学部

人間社会学部は、キリスト教的な世界観、人間観に立ち、世界と人間を深く理解し、より良い未来を構想し、人々や社会、地球環境のために行動する人を育てることを目的とする。これを実現するため、キリスト教に立脚したりベラルアーツ教育を学部全体で実施し、哲学、芸術、科学を含んだ幅広い視野と多様な視角を獲得し、それを基盤にそれぞれの専門性を深めていく。同時に、主体的に行動すること、現場に関わっていくことを学部教育全般にわたって奨励する。これらによって、卒業後の人生全般にわたって学び行動し続けるための基礎を確立する。

人間社会学部総合心理学科

総合心理学科は、キリスト教教育に基づく高等教育機関としての伝統と理念を具現化し、幅広い教養教育により、問題解決のための視点を持ち、他者と深く理解し合って協働し、信念を持って自らの役割を果たす人格の完成を目指す。本学開学以来の「学際的教育」の視点を継承して、人間のこころや行動、さらには社会・文化への教養的視点と専門的視点の双方を涵養し、自己と他者への深い理解と洞察を身につけ、社会的寛容性や共感性を高める。この目的に達するため、本学科では学習者自身が自ら考え、学びをデザインする科目構成及び指導体制をとり、少人数制を活かしたインテンシブな指導及び大学院との連携を積極的に図っていく。

人間社会学部子ども教育学科

子ども教育学科は、キリスト教学校の伝統と理念、幅広い教養教育による総合的な人間力を土台として、次代を担う子どもたちの育ちを支えるケアと教育において専門性を身につけた保育者養成を目指す。子どもを取り巻く家族、地域、社会の環境が大きく変化し多様化している現代社会において、乳幼児期の子どもの育ちを教育的観点から支えることができる保育理念と実践に関する理論を学び、幼稚園教諭1種免許、保育士の資格にふさわしい基礎技能や教育・保育方法等を確実に修得する。本学科では、子どもと家族を支援する家庭・地域・コミュニティ再形成の視点を培っていくことで、国際的な幅広い視野と保育教育の技術、子どもの可塑性を育む豊かな専門性をもった幼児教育者・保育者の養成を目指す。

人間社会学部国際学科

国際学科は、キリスト教教育の基盤の上に、混迷化する国際社会、多様化する日本社会の構造と実態を理解し、様々な人々との共生と協働を念頭に主体的に行動できる人を育成することを目的とする。日本を含む国際社会の政治・社会・文化の理解を深め、人々が内面化しているバイアスを相対化し、異なる背景を持つ人々と協力することにより、サステナブルでインクルーシブな社会を築くための一助となることを教育目標とする。その実現に向けて、幅広い教養教育により自己理解を深め、言語運用能力を高め、国際協力、多文化共生、エリアスタディーズ、日本文化、コミュニケーションを理論的・実践的に学ぶカリキュラムを置く。

(自己点検及び評価等)

第6条 本学は、第1条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果に基づいて教育研究活動等の改善及び充実に努める。

2 前項の点検及び評価を行うにあたっての項目の設定、実施体制等については、別に定める。

第2章 組織

(学部、学科及び学生定員)

第7条 本学に次の学部及び学科を置き、その学生定員は、次のとおりとする。

人間社会学部

総合心理学科

入学定員 110名 収容定員 440名

子ども教育学科

入学定員 70名 収容定員 280名

国際学科

入学定員 100名 収容定員 400名

(大学院)

第8条 本学に大学院を置く。

2 大学院に関する必要な事項は、別に定める。

(付属図書館)

第9条 本学に図書館を置く。

2 図書館に関する必要な事項は、別に定める。

(社会連携センター)

第10条 本学に社会連携センターを置く。

2 社会連携センターに関する必要な事項は、別に定める。

(付属かえで幼稚園)

第11条 本学に付属幼稚園を置く。

2 これを、かえで幼稚園と称し、必要な事項は、別に定める。

第3章 教職員の組織

(教職員組織)

第12条 本学に学長、教授、准教授、講師、実習指導講師、助教、助手及び事務職員を置く。

2 前項のほか、副学長、学部長その他必要な職員を置く。

3 教職員の職務は、学校教育法の定めるところによる。

第4章 教授会、大学評議会及び大学運営委員会

(教授会)

第13条 本学の学部に教授会を置く。

2 教授会は、当該学部所属の専任教授をもって構成する。

3 前項の規定にかかわらず、教授会が必要と認めるときは、准教授、講師、実習指導講師及び助教、その他の職員を加える。

4 教授会は、学部長が招集し、議長となる。

5 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり答申を行うものとする。

(1) 学部長の選出に関する事項

(2) 大学各種委員、給与委員及び就業規則委員の選出に関する事項

(3) 基幹教員の人事及び非常勤教員の適格基準に関する事項

(4) 教育及び研究に関する事項

(5) 学則その他学内諸規程に関する事項

(6) 学生の単位認定に関する事項

(7) 学生の入学、退学、転学、休学、留学、復学、除籍、卒業及び賞罰に関する事項

(8) 学部の予算に関する事項

(9) 附属機関及び附属施設の運営基準に関する事項

(10) その他学事運営に関する事項

(11) 学位の授与

6 本条に定めるもののほか、教授会に関する必要な事項は、別に定める。

(大学評議会)

第14条 本学に大学評議会を置く。

2 大学評議会は、学長、学部長及び学部から選出された3名の教授をもって構成し、学長が招集し、その議長となる。

3 前項の規定にかかわらず、学長が委嘱した者を加える。

- 4 大学評議会は、次の事項を審議する。
- (1) 学則その他学内諸規程の制定及び改廃に関する事項
 - (2) 研究教育計画に関する重要な事項
 - (3) 教員人事の基準に関する事項
 - (4) 学生の厚生補導及びその身分に関する事項
 - (5) 大学の予算に関する事項
 - (6) 附属機関及び附属施設に関する事項
 - (7) 連絡調整に関する事項
 - (8) その他大学の運営に関する重要な共通事項
- 5 本条に定めるもののほか、大学評議会に関する必要な事項は、別に定める。
(大学運営委員会)

第15条 本学に学長の諮問機関として、大学運営委員会を置く。

- 2 大学運営委員会には、学長、学部長及び学部の教授から学長が委嘱した者によって構成し、学長が招集し、その議長となる。
- 3 大学運営委員会は、学長の諮問に基づき大学運営の重要な問題について検討を行い、意見を提出するとともに必要に応じて検討結果を報告する。
- 4 本条に定めるもののほか大学運営委員会に関する必要な事項は、別に定める。

第5章 学年、学期及び休業日

(学年)

第16条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第17条 学年を分けて、次の2学期とする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

- 2 必要がある場合、学長は、後期の授業開始日を前期途中に定めることができる。

(休業日)

第18条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
 - (3) 学院創立記念日 11月6日
 - (4) 夏季休業日 8月1日から9月20日まで
 - (5) 冬季休業日 12月21日から1月7日まで
 - (6) 春季休業日 3月21日から3月31日まで
- 2 必要がある場合、学長は、前項の休業日を臨時に変更することができる。
 - 3 第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。
 - 4 第1項に定める休業日中であっても、別表2に定める資格課程の実習を実施することがある。
 - 5 第1項に定める休業日であっても、必要がある場合、学長は、授業日とすることができる。

第6章 修業年限及び在学年限

(修業年限及び在学年限)

第19条 本学の修業年限は、4年とする。ただし、8年を超えて在学することはできない。また、第25条第1項の規定により入学した学生は、同条第2項により定められた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

第7章 入学

(入学の時期)

第20条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、帰国子女の入学及び第25条に定める再入学、転入学については、学期の始めとすることができる。

(入学の資格)

第21条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する女子とする。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者）
- (7) 本学において個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で18歳に達した者
（入学の出願）

第22条 入学志願者は、本学所定の書類に入学検定料を添えて、願い出なければならない。なお出願の時期、方法及び提出すべき書類等については、別に定める。

（入学者の選考）

第23条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

（入学手続及び入学許可）

第24条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに宣誓書、身元保証書その他所定の書類を提出するとともに、所定の入学料を納付しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

（学士入学、編入学、転入学及び再入学）

第25条 次の各号の一に該当する女子で、本学への入学を志望する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考のうえ、相当年次に入学を許可することができる。

- (1) 本学の学部の他の学科を卒業した者若しくは修業年限4年の他の大学を卒業した者
- (2) 短期大学、高等専門学校又は国立養護教諭養成所を卒業した者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第92条の3に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了し、又は卒業した者
- (4) 本学を中途退学した者が、退学した日の翌日から2年以内に再入学を希望する者

2 前項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学部長が定める。

第8章 教育課程及び履修方法等

（授業科目）

第26条 授業科目を分けて、学部共通科目及び学科専門科目とする。

（単位の計算方法）

第27条 授業科目の単位の計算方法は、1単位の履修時間を教室内及び教室外をあわせて45時間とし、次の基準によるものとする。

- (1) 講義については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 実験・実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める授業をもって1単位とする。

（授業日数）

第28条 1年間の授業日数は、定期試験等の日数を含め35週を下らないものとする。

（単位の授与）

第29条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。

2 前項の授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 前項の規定により履修した授業科目において修得した単位については、60単位を限度として卒業の要件となる単位として認めることができる。

（他大学等における授業科目の履修等）

第30条 教育上有益と認めるときは、他大学若しくは短期大学との協議に基づき学生に当該大学又は短期大学の授業科目を履修させることができる。

2 本学学生が入学前又は入学後に行った各種技能検定試験に合格した場合、教育上有益と認めるときは、単位を認定することができる。

3 第1項の規定により修得した単位並びに前項の規定により認定された単位については、教授会の議に基づき卒業の要件となる単位として認めることができる。

（履修科目の評価）

第31条 授業科目の試験の成績は、秀・優・良・可・不可の5段階をもって表し、秀・優・良・可を合格とする。

(その他)

第32条 この章に定めるもののほか、授業科目の種類、単位数及び履修方法等については、別表1、2、及び3に定めるところによる。

(卒業の要件)

第33条 本学を卒業するためには、学生は、4年以上在学し、別表1に定める授業科目について別表3に掲げるとおり124単位以上を修得しなければならない。

第9章 休学、転学、留学及び退学

(休学)

第34条 疾病その他特別の理由により3か月以上修学することができない者は、学長の許可を得て休学することができる。

2 疾病のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は、休学を命ずることができる。

(休学期間)

第35条 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

2 休学期間は、通算して4年を超えることができない。

3 休学期間は、第19条の在学期間には算入しない。

(復学)

第36条 休学期間中にその理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。

(転学)

第37条 他の大学等への入学又は転入学を志望する者は、学長の許可を受けなければならない。

(転科)

第38条 転科を願い出た者については、教授会の議を経て、これを許可することがある。

(留学)

第39条 外国の大学等で学修することを志望する者は、学長の許可を得て留学することができる。

2 前項の許可を得て留学した期間は、第19条に定める在学期間に含めることができる。

3 第30条の規定は、外国の大学へ留学する場合に準用する。

(退学)

第40条 退学しようとする者は、学長の許可を受けなければならない。

(除籍)

第41条 次の各号の一に該当する者は、教授会の議を経て、学長が除籍する。

- (1) 授業料の納付を怠り、督促してもなお納入しない者
- (2) 第19条に定める在学期間を超えた者
- (3) 第35条第2項に定める休学期間を超えてなお修学できない者
- (4) 長期間にわたり行方不明の者

第10章 卒業及び学士号等

(卒業)

第42条 本学に4年（第25条第1項の規定により入学した者については、同条第2項により定められた在学すべき年数）以上在学し、学則に定める授業科目及び単位数を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

2 学長は、卒業を認定した者に対して、学士の学位を授与する。

3 学位授与に関する規程は、別に定める。

(学位の表記)

第43条 本学を卒業した者が授与される学位の表記は、次のとおりとする。

人間社会学部

総合心理学科 学士（人間科学）

子ども教育学科 学士（子ども教育学）

国際学科 学士（国際学）

(資格)

第44条 第42条の規定により卒業が認められた者で、別表3に定める所定の授業科目及び単位数を修得した

者にあつては、下表の資格等を取得することができる。

資格等の種類	適用学科・専攻	定員	根拠規則等
保育士資格	子ども教育学科	70	児童福祉法施行規則
幼稚園教諭一種免許	子ども教育学科	70	教育職員免許法
中学校教諭一種免許社会	総合心理学科 国際学科	—	教育職員免許法施行規則
中学校教諭一種免許英語	国際学科	—	
高等学校教諭一種免許公民	総合心理学科 国際学科	—	
高等学校教諭一種免許地理歴史	国際学科	—	
高等学校教諭一種免許英語	国際学科	—	
学芸員資格	人間社会学部	—	博物館法
日本語教育	人間社会学部	—	
司書資格	人間社会学部	—	図書館法 図書館法施行規則

2 保育士資格課程履修に関する必要な事項は、別に定める。

第11章 賞罰

(表彰)

第45条 学生として表彰に値する行為があつた者は、教授会及び大学評議会の議を経て、学長が表彰することができる。

(懲戒)

第46条 本学の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、教授会及び大学評議会の議を経て、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

- (1) 性行不良で改善の見込みがない者
- (2) 正当な理由がなくて出席常でない者
- (3) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第12章 研究生、科目等履修生、特別聴講生及び外国人留学生

(研究生)

第47条 本学において、特定の専門事項について研究することを志願する女子があるときは、学部の教育研究に支障のない場合に限り、選考のうえ研究生として入学を許可することがある。

2 研究生を志願することのできる者は、大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められた者とする。

3 研究期間は、1年とする。ただし、特別の理由がある場合は、その期間を更新することができる。

(科目等履修生)

第48条 本学において特定の授業科目の履修を志願する女子があるときは、学部の教育に支障のない場合に限り、選考のうえ科目等履修生として履修を許可することがある。

2 科目等履修生が履修した授業科目の試験に合格した場合は、所定の単位を与えることができる。

(特別聴講生)

第49条 他の大学の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する女子があるときは、当該他大学との協議に基づき、特別聴講生として聴講を許可することがある。

(外国人留学生)

第50条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志望する女子があるときは、選考のうえ外国人留学生として入学を許可することがある。

第51条 研究生、科目等履修生、特別聴講生及び外国人留学生に関する規則は、別に定める。

第13章 入学検定料、入学金及び授業料等

(授業料等の金額)

第52条 入学検定料、入学金及び授業料等の納付金については、次のとおりとする。

(1) 入学検定料

入試方法	内部受験者	外部受験者
学校推薦型選抜	—	30,000円

学校推薦型選抜（院内）	無料	—
総合型選抜	30,000円	30,000円
スカラシップ入学試験	無料	30,000円
スカラシップ入学試験（一般選抜前期、後期併願、学科併願）	—	30,000円
一般選抜前期	1学科単願 2～3学科併願 30,000円	1学科単願 2～3学科併願 30,000円
一般選抜前期（一般選抜後期併願、学科併願）	1学科単願 2～3学科併願 30,000円	1学科単願 2～3学科併願 30,000円
一般選抜後期	30,000円	1学科単願 2～3学科併願 30,000円
一般編入学・社会人編入学試験	—	30,000円
指定短期大学等推薦編入学試験	—	30,000円
社会人入学試験	—	30,000円
外国人留学生入学試験（含編入）	—	30,000円

(2) 入学金 入学手続時 200,000円

(3) 授業料 年額 695,000円

(4) 教育充実費 年額 150,000円

(5) 施設設備資金 年額 250,000円

2 前項のほか特定の資格取得のための科目等を履修する者は、別に定める履修費等を納入しなければならない。

（授業料等の納入）

第53条 授業料等の納付金は、年額の2分の1ずつ次の2期に分けて納入しなければならない。

区分	納期
前期（4月から9月まで）	4月中の別に定める期日まで
後期（10月から翌年3月まで）	10月中の別に定める期日まで

（復学等の場合の授業料等）

第54条 前期又は後期中途において、復学又は入学した者は、当該期の授業料等の納付金を、復学又は入学した月に納入しなければならない。

（学年の途中で卒業する場合の授業料等）

第55条 学年の途中で卒業する見込の者は、卒業する見込みの期までの授業料等の納付金を納付するものとする。

（退学、除籍及び停学の場合の授業料等）

第56条 前期又は後期中途で退学した者の当該期分の授業料等の納付金は、徴収する。なお除籍された者の当該期分の授業料等の納付金は、徴収しない。

2 停学期間中の授業料等の納付金は、徴収する。

（休学の場合の授業料等）

第57条 休学期間中は、在籍料を徴収する。授業料等の納付金は、これを徴収しない。

（卒業延期の場合の授業料等）

第58条 卒業延期期間中の授業料等の納付金は、徴収する。卒業延期期間中に納入すべき授業料等の納付金を減額する。

（研究生及び科目等履修生等の授業料等）

第59条 研究生、科目等履修生及び特別聴講生の入学検定料及び授業料等の納付金については、別に定める。

（スカラシップ入学生の授業料等）

第60条 スカラシップ生に関する規程は、別に定める。

（指定施設推薦入学生の授業料等）

第61条 指定施設推薦入学生に関する規程は、別に定める。

（総合型選抜〔英語4技能型〕、総合型選抜併願型及び学校推薦型選抜高大連携協定校における〔言語・

外国語検定] 入学生の授業料等)

第62条 総合型選抜〔英語4技能型〕、総合型選抜併願型及び学校推薦型選抜高大連携協定校における〔言語・外国語検定〕入学生が本学の長期留学プログラム（協定校留学・推薦校留学・認定校留学）により留学した場合、留学期間中の授業料等の納付金は、徴収する。ただし、留学期間中の学期について納入すべき授業料等の納付金を返還する。

（納付した授業料等）

第63条 納付した入学検定料、入学金及び授業料等の納付金は、特別な事情のない限り返還しない。ただし、入学時納付金を完納後に入学を辞退する場合は、大学が定める提出期限までに入学辞退手続きを完了した者に限り、授業料等の納付金を返還する。

第14章 公開講座

（公開講座）

第64条 社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、公開講座を開設することができる。

附 則

この学則は、平成元年4月1日から施行する。

附 則（平成元年3月23日改正）

この学則は、平成元年4月1日から施行する。ただし、入学金の規定については、平成元年3月31日までに入学を許可された者は、なお従前の規定による。

附 則（平成2年2月23日改正）

この学則は、平成2年4月1日から施行する。

附 則（平成2年5月25日改正）

- 1 この学則は、平成3年4月1日から施行する。
- 2 第3条第2項に定める入学定員は、同項の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までは、次のとおりとする。

人間科学科 入学定員 120名

社会科学科 入学定員 180名

附 則（平成2年5月25日改正）

- 1 この学則は、平成4年4月1日から施行する。
- 2 第3条第2項に定める入学定員は、同項の規定にかかわらず、平成4年度から平成11年度までは、次のとおりとする。

人間科学科 入学定員 160名

社会科学科 入学定員 240名

附 則（平成4年5月28日改正）

この学則は、平成4年6月1日から施行する。

附 則（平成5年2月26日改正）

- 1 この学則は、平成5年4月1日から施行する。
- 2 ただし、第19条の授業科目、第25条の授業科目の種類・単位数・履修方法等及び第26条に掲げる卒業要件は、平成4年3月31日までに入学を許可された者は、なお従前の規定による。

附 則（平成5年5月28日改正）

この学則は、平成5年6月1日から施行する。

附 則（平成6年2月25日改正）

この学則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則（平成7年2月24日改正）

- 1 この学則は、平成7年4月1日から施行する。
- 2 なお、この学則は、平成6年10月1日以前の入学者にも適用する。
- 3 第4条に定める入学定員は、同条の規定にかかわらず、平成11年度までは、次のとおりとする。

人間科学部 人間科学科 入学定員 180名

社会科学部 社会科学科 入学定員 220名

- 4 人文学部 人間科学科及び社会科学科は、平成7年3月31日をもって廃止する。

附 則（平成8年3月1日改正）

この学則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則（平成9年2月28日改正）

- 1 この学則は、平成9年4月1日から施行する。

2 第4条に定める入学定員は、同条の規定にかかわらず、平成11年度までは、次のとおりとする。

人間科学部 人間科学科 入学定員 230名

社会科学部 社会科学科 入学定員 345名

また収容定員も同条の規定にかかわらず、次表のとおりとする。

(単位：名)

学部	学科	収容定員		
		平成9年	平成10年	平成11年
人間科学部	人間科学科	400	460	510
	人間福祉学科	100	200	300
社会科学部	社会科学科	575	690	815

3 本学則の規定にかかわらず、東洋英和女学院大学短期大学部の学生が在学する間、短期大学部に関する規定は存続するものとする。

附 則 (1998 (平成10) 年2月27日改正)

1 この学則は、1998 (平成10) 年4月1日から施行する。

2 ただし、別表6納付金の費目については、1998 (平成10) 年3月31日に在学する学生については、なお従前の規定による。

附 則 (1999 (平成11) 年2月26日改正)

1 この学則は、1999 (平成11) 年4月1日から施行する。

2 ただし、別表6納付金の規定については、1999 (平成11) 年3月31日に在学する学生については、なお従前の規定による。

附 則 (2000 (平成12) 年2月25日改正)

この学則は、2000 (平成12) 年4月1日から施行する。

附 則 (2000 (平成12) 年5月26日改正)

1 この学則は、2001 (平成13) 年4月1日から施行する。

2 社会科学部社会科学科は、改正後の第4条の規定にかかわらず、2001 (平成13) 年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則 (2000 (平成12) 年10月27日改正)

この学則は、2001 (平成13) 年4月1日から施行する。

附 則 (2001 (平成13) 年2月23日改正)

この学則は、2001 (平成13) 年4月1日から施行する。

附 則 (2002 (平成14) 年2月22日改正)

この学則は、2002 (平成14) 年4月1日から施行する。

附 則 (2003 (平成15) 年2月28日改正)

この学則は、2003 (平成15) 年4月1日から施行する。

附 則 (2004 (平成16) 年2月27日改正)

この学則は、2004 (平成16) 年4月1日から施行する。

附 則 (2004 (平成16) 年5月28日改正)

この学則は、2005 (平成17) 年4月1日から施行する。

附 則 (2004 (平成16) 年10月29日改正)

この学則は、2005 (平成17) 年4月1日から施行する。

附 則 (2005 (平成17) 年2月25日改正)

この学則は、2005 (平成17) 年4月1日から施行する。

附 則 (2006 (平成18) 年2月24日改正)

この学則は、2006 (平成18) 年4月1日から施行する。

附 則 (2006 (平成18) 年2月24日改正)

この学則は、2007 (平成19) 年4月1日から施行する。

附 則 (2006 (平成18) 年5月26日改正)

この学則は、2007 (平成19) 年4月1日から施行する。

附 則 (2006 (平成18) 年9月11日改正)

この学則は、2007 (平成19) 年4月1日から施行する。

附 則 (2007 (平成19) 年2月26日改正)

この学則は、2007 (平成19) 年4月1日から施行する。

附 則 (2008 (平成20) 年2月29日改正)

この学則は、2008 (平成20) 年4月1日から施行する。

附 則 (2008 (平成20) 年10月24日改正)

1 この学則は、2009 (平成21) 年4月1日から施行する。

2 この学則は、2009 (平成21) 年4月1日に編入学する人間科学部人間福祉学科2年次編入生及び人間科学部人間福祉学科3年次編入生にも適用する。

附 則 (2009 (平成21) 年2月27日改正)

この学則は、2009 (平成21) 年4月1日から施行する。

附 則 (2009 (平成21) 年2月27日改正)

この学則は、2010 (平成22) 年4月1日から施行する。

附 則 (2009 (平成21) 年5月29日改正)

この学則は、2009 (平成21) 年5月29日から施行し、2009 (平成21) 年4月1日から適用する。

附 則 (2010 (平成22) 年2月26日改正)

この学則は、2010 (平成22) 年4月1日から施行する。

附 則 (2010 (平成22) 年7月16日改正)

この学則は、2011 (平成23) 年4月1日から施行する。

附 則 (2010 (平成22) 年10月29日改正)

この学則は、2011 (平成23) 年4月1日から施行する。

附 則 (2011 (平成23) 年2月25日改正)

この学則は、2011 (平成23) 年4月1日から施行する。

附 則 (2012 (平成24) 年2月24日改正)

この学則は、2012 (平成24) 年4月1日から施行する。

附 則 (2012 (平成24) 年5月25日改正)

この学則は、2012 (平成24) 年5月25日から施行し、2012 (平成24) 年4月1日から適用する。

附 則 (2013 (平成25) 年2月22日改正)

この学則は、2013 (平成25) 年2月22日から施行し、2012 (平成24) 年4月1日から適用する。

附 則 (2013 (平成25) 年5月31日改正)

この学則は、2014 (平成26) 年4月1日から施行する。

附 則 (2014 (平成26) 年2月28日改正)

この学則は、2014 (平成26) 年4月1日から施行する。

附 則 (2014 (平成26) 年2月28日改正)

1 この学則は、2014 (平成26) 年4月1日から施行する。

2 ただし、第54条(4)授業料については、2014 (平成26) 年3月31日に在学する学生については、なお従前の規定による。

附 則 (2014 (平成26) 年2月28日改正)

この学則は、2015 (平成27) 年4月1日から施行する。

附 則 (2014 (平成26) 年10月31日改正)

この学則は、2015 (平成27) 年4月1日から施行する。

附 則 (2015 (平成27) 年2月27日改正)

この学則は、2015 (平成27) 年4月1日から施行する。

附 則 (2016 (平成28) 年5月27日改正)

この学則は、2016 (平成28) 年5月27日から施行し、2016 (平成28) 年4月1日から適用する。

附 則 (2016 (平成28) 年2月26日改正)

この学則は、2017 (平成29) 年4月1日から施行する。

附 則 (2016 (平成28) 年5月27日改正)

この学則は、2017 (平成29) 年4月1日から施行する。

附 則 (2016 (平成28) 年11月25日改正)

この学則は、2017 (平成29) 年4月1日から施行する。

附 則 (2017 (平成29) 年2月24日改正)

この学則は、2017 (平成29) 年4月1日から施行する。

附 則 (2017 (平成29) 年11月30日改正)

この学則は、2018 (平成30) 年4月1日から施行する。

附 則 (2017 (平成29) 年11月30日改正)

この学則は、2019 (平成31) 年4月1日から施行する。

附 則 (2018 (平成30) 年2月23日改正)

この学則は、2018 (平成30) 年4月1日から施行する。

附 則 (2018 (平成30) 年5月25日改正)

この学則は、2019 (平成31) 年4月1日から施行する。

附 則 (2019 (平成31) 年2月22日改正)

この学則は、2019 (平成31) 年4月1日から施行する。

附 則 (2020 (令和2) 年10月30日改正)

この学則は、2020 (令和2) 年10月30日から施行し、2020 (令和2) 年9月1日から適用する。

附 則 (2020 (令和2) 年10月30日改正)

この学則は、2020 (令和2) 年10月30日から施行し、2020 (令和2) 年4月1日から適用する。

附 則 (2020 (令和2) 年11月27日改正)

この学則は、2020 (令和2) 年11月27日から施行する。

附 則 (2022 (令和4) 年2月25日改正)

この学則は、2022 (令和4) 年4月1日から施行する。

附 則 (2022 (令和4) 年5月27日改正)

この学則は、2022 (令和4) 年5月27日から施行し、2022 (令和4) 年4月1日から適用する。

附 則 (2022 (令和4) 年10月28日改正)

この学則は、2022 (令和4) 年10月28日から施行し、2022 (令和4) 年4月1日から適用する。

附 則 (2023 (令和5) 年5月26日改正)

この学則は、2023 (令和5) 年5月26日から施行し、2023 (令和5) 年4月1日から適用する。

附 則 (2023 (令和5) 年10月27日改正)

1 この学則は、2024 (令和6) 年4月1日から施行する。

2 第54条(3)授業料については、2025 (令和7) 年度入学生から適用し、2024 (令和6) 年度以前の入学生については、従前のおりとする。

附 則 (2024 (令和6) 年2月22日改正)

この学則は、2024 (令和6) 年4月1日から施行する。

附 則 (2024 (令和6) 年2月22日改正)

この学則は、2025 (令和7) 年4月1日から施行する。

附 則 (2024 (令和6) 年5月31日改正)

この学則は、2025 (令和7) 年4月1日から施行する。

附 則 (2024 (令和6) 年5月31日改正)

この学則は、2026 (令和8) 年4月1日から施行する。

附 則 (2024 (令和6) 年10月25日改正)

この学則は、2026 (令和8) 年4月1日から施行する。

附 則 (2025 (令和7) 年2月28日改正)

この学則は、2025 (令和7) 年4月1日から施行する。

附 則 (2025 (令和7) 年2月28日改正)

この学則は、2026 (令和8) 年4月1日から施行する。

附 則 (2025 (令和7) 年7月22日改正)

この学則は、2026 (令和8) 年4月1日から施行する。

附 則 (2025 (令和7) 年9月16日改正)

この学則は、2026 (令和8) 年4月1日から施行する。

附 則 (2026 (令和8) 年1月19日改正)

この学則は、2026 (令和8) 年4月1日から施行する。

別表1 人間社会学部教育課程

(1) 総合心理学科教育課程

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	
学部 共通 科目	キリスト教概論	1	2			○			
	キリスト教文化史	2		2		○			
	旧約聖書	2		2		○			
	新約聖書	2		2		○			
	東洋英和の歴史	2		2		○			
	フレッシュマン・セミナーⅠ	1	1				○		
	フレッシュマン・セミナーⅡ	1	1				○		
科目	ライフデザイン	1	2			○			
	ジェンダースタディーズA	2		2		○			
	ジェンダースタディーズB	2		2		○			
	ジェンダースタディーズC	2		2		○			
	ビジネスと社会A	2		2		○			
	ビジネスと社会B	2		2		○			
	ビジネスと社会C	2		2		○			
	キャリアデザイン	2		2		○			
	健康科学(講義・実技)	1		2		○		○	
	スポーツ科学A	1		1				○	
	スポーツ科学B	1		1				○	
	スポーツ科学C	1		1				○	
情報 科目	基礎情報科学Ⅰ	1	2			○			
	基礎情報科学Ⅱ	1	2			○			
	メディア演習A	2		2			○		
	メディア演習B	2		2			○		
	メディア演習C	2		2			○		
コミュ ニケー ション スキ ルズ 科目	Freshman English AⅠ	1	1				○		
	Freshman English AⅡ	1	1				○		
	Freshman English BⅠ	1	1				○		
	Freshman English BⅡ	1	1				○		
	Sophomore English AⅠ	2	1				○		
	Sophomore English AⅡ	2	1				○		
	Sophomore English BⅠ	2	1				○		
	Sophomore English BⅡ	2	1				○		
	TOEIC対策講座	2		1			○		
	海外英語実習	1		2				○	
	フランス語(ベーシック)Ⅰ	1		2			○		履修することについてはⅠ・Ⅱを同一年度に
	フランス語(ベーシック)Ⅱ	1		2			○		
	フランス語(アドバンス)	1		2			○		
	ドイツ語(ベーシック)Ⅰ	1		2			○		
	ドイツ語(ベーシック)Ⅱ	1		2			○		
	ドイツ語(アドバンス)	1		2			○		
	スペイン語(ベーシック)Ⅰ	1		2			○		
	スペイン語(ベーシック)Ⅱ	1		2			○		
	スペイン語(アドバンス)	1		2			○		
中国語(ベーシック)Ⅰ	1		2			○			
中国語(ベーシック)Ⅱ	1		2			○			
中国語(アドバンス)	1		2			○			
韓国語(ベーシック)Ⅰ	1		2			○			
韓国語(ベーシック)Ⅱ	1		2			○			
韓国語(アドバンス)	1		2			○			
手話(ベーシック)Ⅰ	1		2			○			
手話(ベーシック)Ⅱ	1		2			○			
手話(アドバンス)	1		2			○			
日本語AⅠ	1		1			○		認に留	

	日本語AⅡ	1		1		○		学生およびそれ めたる対象科目が
	日本語BⅠ	1		1		○		
	日本語BⅡ	1		1		○		
	日本語CⅠ	1		1		○		
	日本語CⅡ	1		1		○		
	コミュニケーション英文法	2		2		○		
	English for Communication and Discussion	2		2		○		
	Presenting in English	3		2		○		
	English for World Affairs	2		2		○		
	English for Tourism	2		2		○		
	English for Business	2		2		○		
	English for Journalism	2		2		○		
	Airline English	2		2		○		
	Psychology in Romance Movies	2		2		○		
	Culture and History through Movies	2		2		○		
	Exploring Novels through Movies	2		2		○		
	English in Pop Culture	1		2		○		
	English through Music	1		2		○		
	コミュニケーションのための韓国語	2		2		○		
	ポップカルチャーから学ぶ韓国語	2		2		○		
	留学のための韓国語	2		2		○		
共通教養科目	日本国憲法	1		2		○		
	哲学概論	2		2		○		
	倫理と人権	1		2		○		
	健康心理学	2		2		○		
	教養のための歴史	1		2		○		
	生命と人間の歴史	2		2		○		
	教養のための自然科学	1		2		○		
	教養のための芸術A	1		2		○		
	教養のための芸術B	1		2		○		
アクティブラーニング科目	フィールドワークA	2		2			○	
	フィールドワークB	2		2			○	
	フィールドワークC	2		2			○	
	プロジェクト学習A	2		2			○	
	プロジェクト学習B	2		2			○	
	プロジェクト学習C	2		2			○	
	プロジェクト学習D	2		2			○	
	プロジェクト学習E	2		2			○	
	プロジェクト学習F	2		2			○	
	海外研修A	2		2		○		○
	海外研修B	2		2		○		○
	歴史文化研修A	2		2		○		○
	歴史文化研修B	2		2		○		○
インターンシップ	2		2		○		○	
共通資格科目	博物館概論	2		2		○		△
	博物館資料論	2		2		○		△
	博物館資料保存論	2		2		○		△
	博物館教育論	2		2		○		△
	博物館情報・メディア論	2		2		○		△
	博物館経営論	2		2		○		△
	博物館展示論	2		2		○		△
	博物館実習Ⅰ	3		1			○	△
	博物館実習Ⅱ	3		2			○	△
	生涯学習概論	2		2		○		△
	生活のなかの図書館	1		2		○		△
	図書館情報技術論	2		2		○		△
	図書館制度・経営論	3		2		○		△
	生涯学習社会と図書館サービス	2		2		○		△
	情報サービス論	3		2		○		△
	情報資源組織論	3		2		○		△
	情報資源組織演習Ⅰ	3		1			○	△
	情報資源組織演習Ⅱ	3		1			○	△

	子どもの読書支援	3			2	○			△
	情報サービス演習Ⅰ	3			1		○		△
	情報サービス演習Ⅱ	3			1		○		△
	図書館の比較文化論	2			2	○			△
	図書館情報資源概論	2			2	○			△
	図書・図書館史	1			2	○			△
	図書館情報資源特論	2			2	○			△
	社会調査の基礎	1			2	○			△
	社会調査法	1			2	○			△
	データで読む社会	2			2	○			△
	統計学	2			2	○			△
	フィールド調査法	2			2		○		△
	社会調査演習Ⅰ	3			2		○		△
	社会調査演習Ⅱ	3			2		○		△
	日本語教育法AⅠ	1			2	○			△
	日本語教育法AⅡ	1			2	○			△
	日本語教育法BⅠ	2			2	○			△
	日本語教育法BⅡ	2			2	○			△
	日本語教育法CⅠ	2			2	○			△
	日本語教育法CⅡ	2			2	○			△
	日本語教育法DⅠ	2			2	○			△
	日本語教育法DⅡ	2			2	○			△
	日本語教育法EⅠ	2			2	○			△
	日本語教育法EⅡ	2			2	○			△
	教職の理解	2			2	○			△
	教育課程論	2			2	○			△
	道徳教育の理論と実践	2			2	○			△
	特別活動と総合的な学習の時間	2			2	○			△
	教育の方法と技術	2			2	○			△
	生徒・進路指導の理論と方法	2			2	○			△
	ICT演習	2			2		○		△
	学校体験	2			1			○	△
	介護等体験	3			1			○	△
	教育実習Ⅰ	4			1			○	△
	教育実習Ⅱ	4			2			○	△
	教育実習Ⅲ	4			2			○	△
	教職実践演習(中・高)	4			2		○		△
	教育社会学(中・高)	2			2	○			△
教養科目 (子ども教育学科オープン科目)	キリスト教人間形成論	3			2	○			
	キリスト教保育	3			2	○			
	教育思想史	1			2	○			
	保育教育原理	1			2	○			
	保育者論	1			2	○			
	子ども家庭支援論	2			2	○			
	社会福祉	1			2	○			
	社会的養護Ⅰ	2			2	○			
	子ども家庭支援の心理学	3			2	○			
	子どもの心理と発達Ⅰ	2			2	○			
	幼児の理解と教育の方法	2			2	○			
	乳児保育Ⅰ	2			2	○			
	子ども家庭福祉	1			2	○			
	子どもソーシャルワーク	3			2	○			
	インクルーシブ教育	3			2	○			
	子どもと自然	2			2	○			
	世界の子どもの教育	2			2	○			
	子どもと国際社会	2			2	○			
	Speaking English with Children	3			2	○			
	子どもの感性とアート	2			2	○			
	子どものアートとサイエンス	3			2	○			
	子どもと文化	2			2	○			
	アートプロジェクト論	2			2	○			
	あそびと創造のデザイン学	2			2	○			

	子どもとパフォーマンスアーツ	2		2		○			
	子どもフィールドワークA	3		2			○		
	子どもフィールドワークB	3		2			○		
	子どもフィールドワークC	2		2			○		
教養科目 (国際学科オーブン科目)	法学	1		2		○			
	国際関係入門	1		2		○			
	政治学	1		2		○			
	マクロ経済学	1		2		○			
	ミクロ経済学	1		2		○			
	ニュースを読む	2		2		○			
	国際社会学	1		2		○			
	多様性の社会思想	1		2		○			
	宗教と国際社会	2		2		○			
	異文化間コミュニケーション入門	1		2		○			
	グローバル時代のコミュニケーション	2		2		○			
	グローバリゼーションと文化	2		2		○			
	北米入門	1		2		○			
	現代の北米	2		2		○			
	ヨーロッパ・EU入門	1		2		○			
	現代のヨーロッパ・EU	2		2		○			
	北東アジア入門	1		2		○			
	東南アジア入門	1		2		○			
	現代のアジア	2		2		○			
	オセアニア入門	1		2		○			
	現代のオセアニア	2		2		○			
	グローバルサウス論	2		2		○			
	日本文化入門B	1		2		○			
	ホスピタリティ論	2		2		○			
	韓国の社会と文化	2		2		○			
	英語学概論A	2		2		○			
	英語学概論B	2		2		○			
	英語文学入門A	1		2		○			
	英語文学入門B	1		2		○			
	英語児童文学	1		2		○			
	英語で紹介する日本A	1		2		○			
	英語で紹介する日本B	1		2		○			
	第二言語習得概論Ⅰ	2		2		○			
第二言語習得概論Ⅱ	2		2		○				
English for Study Abroad A	1		2		○				
English for Study Abroad B	1		2		○				
English as an International Language	2		2		○				
English for Integrated Learning Ⅰ	2		2		○				
English for Integrated Learning Ⅱ	2		2		○				
Education around the World	2		2		○				
English for Intercultural Understanding	2		2		○				
留学準備講座	2		2		○				
学科専門科目	ゼミナール								
	基礎ゼミナールⅠ	2	2				○		
	基礎ゼミナールⅡ	2	2				○		
	ゼミナールⅠ	3	2				○		
	ゼミナールⅡ	3	2				○		
	ゼミナールⅢ	4	2				○		
ゼミナールⅣ	4	2				○			
学科基礎科目	総合心理学基礎論	1	2			○			
	心理学概論Ⅰ	1	2			○			
	心理学概論Ⅱ	1	2			○			
	社会学概論Ⅰ	1	2			○			
	社会学概論Ⅱ	1	2			○			
	宗教学概論Ⅰ	1	2			○			
	宗教学概論Ⅱ	1	2			○			
	教育学概論Ⅰ	1	2			○			
	教育学概論Ⅱ	1	2			○			
科学概論	1	2			○				

	死生学概論	1		2		○			
心理学専門科目	心理学研究法	2		2		○			
	心理学統計法Ⅰ	2		2		○			
	心理学統計法Ⅱ	2		2		○			
	臨床心理学概論	1		2		○			
	知覚・認知心理学	1		2		○			
	感情・人格心理学	2		2		○			
	神経・生理心理学	2		2		○			
	社会・集団・家族心理学	2		2		○			
	障害者・障害児心理学	2		2		○			
	学習・言語心理学	2		2		○			
	発達心理学	1		2		○			
	教育心理学	2		2		○			
	青年心理学	2		2		○			
	児童発達心理学	2		2		○			
	教育相談(中・高)	3		2		○			
	心理学的支援法	3		2		○			
	健康・医療心理学	2		2		○			
	福祉心理学	2		2		○			
	教育・学校心理学	2		2		○			
	司法・犯罪心理学	2		2		○			
	産業・組織心理学	2		2		○			
	人体の構造と機能及び疾病	1		2		○			
	精神疾患とその治療	2		2		○			
	公認心理師の職責	3		2		○			
	関係行政論	3		2		○			
	親子の臨床心理学	2		2		○			
	対人社会心理学	2		2		○			
	メディア心理学	2		2		○			
	色彩・造形心理学	2		2		○			
	恋愛心理学	3		2		○			
	心理学特殊講義	2		2		○			
	教育心理学各論A	2		2		○			
	教育心理学各論B	2		2		○			
	発達心理学各論A	2		2		○			
	発達心理学各論B	2		2		○			
	臨床心理学各論A	3		2		○			
臨床心理学各論B	2		2		○				
臨床心理学各論C	2		2		○				
臨床心理学各論D	3		2		○				
心理学応用科目	心理学実験Ⅰ	2		2			○		
	心理学実験Ⅱ	3		2			○		
	心理的アセスメント	2		4			○		
	心理学調査実習	3		4			○		
	心理学応用実習A	3		2			○		
	心理学応用実習B	3		4			○		
	臨床心理フィールドワークA	2		2			○		
	臨床心理フィールドワークB	2		2			○		
	臨床心理フィールドワークC	2		2			○		
	心理演習	3		2			○		
	心理実習	4		2				○	注1 注2
文化・社会科目	AI概論	2		2		○			
	AI演習	2		2			○		
	教育工学	3		2		○			
	女性教育論	2		2		○			
	家族関係論	1		2		○			
	家族と社会	1		2		○			
	宗教社会学	2		2		○			
	生命倫理	2		2		○			
	臨床死生学	3		2		○			
	特別支援教育	3		2		○			
	日本史概説	1		2		○			

	外国史概説	1		2		○			
	人文地理学	1		2		○			
	自然地理学	1		2		○			
	世界地誌	1		2		○			
	多文化社会論	2		2		○			
	文化人類学	1		2		○			
	比較文化論	2		2		○			
	日本文化入門A	1		2		○			
	ポップカルチャー論	2		2		○			
科学 目 科 教 職	社会科・公民科教育法Ⅰ	3		2		○			
	社会科・公民科教育法Ⅱ	3		2			○		
	社会科・地歴科教育法Ⅰ	3		2		○			
	社会科・地歴科教育法Ⅱ	3		2			○		

△資格課程科目

注：配当年次は履修最低年次を示す。

(注1)15人以下のクラスの演習である。

(注2)15人以下のクラスの実習である。保健医療，福祉，教育，司法・犯罪，産業・労働の5分野に関する施設で80時間以上の実習を行う。

教科に関する専門的事項
 各教科の指導法に関する科目
 大学が独自に設定する科目
 教職の基礎的理解に関する科目等

(2) 子ども教育学科教育課程

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	
学部共通科目	キリスト教概論	1	2			○			
	キリスト教文化史	2		2		○			
	旧約聖書	2		2		○			
	新約聖書	2		2		○			
	東洋英和の歴史	2		2		○			
フレッシュマン・セミナー	フレッシュマン・セミナーⅠ	1	1				○		
	フレッシュマン・セミナーⅡ	1	1				○		
ライフデザイン・ウェルネス	ライフデザイン	1	2			○			
	ジェンダースタディーズA	2		2		○			
	ジェンダースタディーズB	2		2		○			
	ジェンダースタディーズC	2		2		○			
	ビジネスと社会A	2		2		○			
	ビジネスと社会B	2		2		○			
	ビジネスと社会C	2		2		○			
	キャリアデザイン	2		2		○			
	健康科学(講義・実技)	1	2			○		○	
	スポーツ科学A	1		1				○	
スポーツ科学B	1		1				○		
スポーツ科学C	1		1				○		
情報メディア	基礎情報科学Ⅰ	1	2			○			
	基礎情報科学Ⅱ	1	2			○			
	メディア演習A	2		2			○		
	メディア演習B	2		2			○		
	メディア演習C	2		2			○		
コミュニケーションスキルズ科目	Freshman English AⅠ	1	1				○		
	Freshman English AⅡ	1	1				○		
	Freshman English BⅠ	1	1				○		
	Freshman English BⅡ	1	1				○		
	Sophomore English AⅠ	2	1				○		
	Sophomore English AⅡ	2	1				○		
	Sophomore English BⅠ	2	1				○		
	Sophomore English BⅡ	2	1				○		
	TOEIC対策講座	2		1			○		
	海外英語実習	1		2				○	
	フランス語(ベーシック)Ⅰ	1		2			○		履修することについてはⅠ・Ⅱを同一年度に
	フランス語(ベーシック)Ⅱ	1		2			○		
	フランス語(アドバンス)	1		2			○		
	ドイツ語(ベーシック)Ⅰ	1		2			○		
	ドイツ語(ベーシック)Ⅱ	1		2			○		
ドイツ語(アドバンス)	1		2			○			
スペイン語(ベーシック)Ⅰ	1		2			○			
スペイン語(ベーシック)Ⅱ	1		2			○			
スペイン語(アドバンス)	1		2			○			
中国語(ベーシック)Ⅰ	1		2			○			
中国語(ベーシック)Ⅱ	1		2			○			
中国語(アドバンス)	1		2			○			
韓国語(ベーシック)Ⅰ	1		2			○			
韓国語(ベーシック)Ⅱ	1		2			○			
韓国語(アドバンス)	1		2			○			
手話(ベーシック)Ⅰ	1		2			○			
手話(ベーシック)Ⅱ	1		2			○			
手話(アドバンス)	1		2			○			

	日本語A I	1		1		○		認めに 準留 ず学 た生 者お 対と 象よ 科大 目学 がそ れ
	日本語A II	1		1		○		
	日本語B I	1		1		○		
	日本語B II	1		1		○		
	日本語C I	1		1		○		
	日本語C II	1		1		○		
	コミュニケーション英文法	2		2		○		
	English for Communication and Discussion	2		2		○		
	Presenting in English	3		2		○		
	English for World Affairs	2		2		○		
	English for Tourism	2		2		○		
	English for Business	2		2		○		
	English for Journalism	2		2		○		
	Airline English	2		2		○		
	Psychology in Romance Movies	2		2		○		
	Culture and History through Movies	2		2		○		
	Exploring Novels through Movies	2		2		○		
	English in Pop Culture	1		2		○		
	English through Music	1		2		○		
	コミュニケーションのための韓国語	2		2		○		
	ポップカルチャーから学ぶ韓国語	2		2		○		
	留学のための韓国語	2		2		○		
共通 教養 科目	日本国憲法	1		2		○		
	哲学概論	2		2		○		
	倫理と人権	1		2		○		
	健康心理学	2		2		○		
	教養のための歴史	1		2		○		
	生命と人間の歴史	2		2		○		
	教養のための自然科学	1		2		○		
	教養のための芸術A	1		2		○		
	教養のための芸術B	1		2		○		
アク ティ ブ ・ ラー ニン グ 科 目	フィールドワークA	2		2		○		
	フィールドワークB	2		2		○		
	フィールドワークC	2		2		○		
	プロジェクト学習A	2		2		○		
	プロジェクト学習B	2		2		○		
	プロジェクト学習C	2		2		○		
	プロジェクト学習D	2		2		○		
	プロジェクト学習E	2		2		○		
	プロジェクト学習F	2		2		○		
	海外研修A	2		2		○	○	
	海外研修B	2		2		○	○	
	歴史文化研修A	2		2		○	○	
	歴史文化研修B	2		2		○	○	
	インターンシップ	2		2		○	○	
共通 資格 科目	博物館概論	2		2		○		△
	博物館資料論	2		2		○		△
	博物館資料保存論	2		2		○		△
	博物館教育論	2		2		○		△
	博物館情報・メディア論	2		2		○		△
	博物館経営論	2		2		○		△
	博物館展示論	2		2		○		△
	博物館実習 I	3		1			○	△
	博物館実習 II	3		2			○	△
	生涯学習概論	2		2		○		△
	生活のなかの図書館	1		2		○		△
	図書館情報技術論	2		2		○		△
	図書館制度・経営論	3		2		○		△

	生涯学習社会と図書館サービス	2		2	○		△
	情報サービス論	3		2	○		△
	情報資源組織論	3		2	○		△
	情報資源組織演習Ⅰ	3		1		○	△
	情報資源組織演習Ⅱ	3		1		○	△
	子どもの読書支援	3		2	○		△
	情報サービス演習Ⅰ	3		1		○	△
	情報サービス演習Ⅱ	3		1		○	△
	図書館の比較文化論	2		2	○		△
	図書館情報資源概論	2		2	○		△
	図書・図書館史	1		2	○		△
	図書館情報資源特論	2		2	○		△
	社会調査の基礎	1		2	○		△
	社会調査法	1		2	○		△
	データで読む社会	2		2	○		△
	統計学	2		2	○		△
	フィールド調査法	2		2		○	△
	社会調査演習Ⅰ	3		2		○	△
	社会調査演習Ⅱ	3		2		○	△
	日本語教育法AⅠ	1		2	○		△
	日本語教育法AⅡ	1		2	○		△
	日本語教育法BⅠ	2		2	○		△
	日本語教育法BⅡ	2		2	○		△
	日本語教育法CⅠ	2		2	○		△
	日本語教育法CⅡ	2		2	○		△
	日本語教育法DⅠ	2		2	○		△
	日本語教育法DⅡ	2		2	○		△
	日本語教育法EⅠ	2		2	○		△
	日本語教育法EⅡ	2		2	○		△
教養科目 (総合心理学 科オープン科目)	心理学概論Ⅰ	1		2	○		
	心理学概論Ⅱ	1		2	○		
	社会学概論Ⅰ	1		2	○		
	社会学概論Ⅱ	1		2	○		
	宗教学概論Ⅰ	1		2	○		
	宗教学概論Ⅱ	1		2	○		
	教育学概論Ⅰ	1		2	○		
	教育学概論Ⅱ	1		2	○		
	科学概論	1		2	○		
	臨床心理学概論	1		2	○		
	発達心理学	1		2	○		
	教育心理学	2		2	○		
	青年心理学	2		2	○		
	メディア心理学	2		2	○		
	恋愛心理学	3		2	○		
	感情・人格心理学	2		2	○		
	神経・生理心理学	2		2	○		
	障害者・障害児心理学	2		2	○		
	学習・言語心理学	2		2	○		
	知覚・認知心理学	1		2	○		
	社会・集団・家族心理学	2		2	○		
	色彩・造形心理学	2		2	○		
	発達心理学各論A	2		2	○		
	心理学特殊講義	2		2	○		
	臨床心理学各論A	3		2	○		
	臨床心理学各論B	2		2	○		
	臨床心理学各論C	2		2	○		
	家族関係論	1		2	○		
	家族と社会	1		2	○		

	宗教社会学	2	2	○		
	死生学概論	1	2	○		
	生命倫理	2	2	○		
	女性教育論	2	2	○		
	特別支援教育	3	2	○		
	教育工学	3	2	○		
	AI概論	2	2	○		
	AI演習	2	2		○	
教養科目 (国際学科 オーブン 科目)	外国史概説	1	2	○		
	日本史概説	1	2	○		
	人文地理学	1	2	○		
	自然地理学	1	2	○		
	世界地誌	1	2	○		
	法学	1	2	○		
	国際関係入門	1	2	○		
	政治学	1	2	○		
	マクロ経済学	1	2	○		
	ミクロ経済学	1	2	○		
	ニュースを読む	2	2	○		
	国際社会学	1	2	○		
	多様性の社会思想	1	2	○		
	宗教と国際社会	2	2	○		
	文化人類学	1	2	○		
	比較文化論	2	2	○		
	グローバル時代のコミュニケーション	2	2	○		
	グローバリゼーションと文化	2	2	○		
	北米入門	1	2	○		
	現代の北米	2	2	○		
	ヨーロッパ・EU入門	1	2	○		
	現代のヨーロッパ・EU	2	2	○		
	北東アジア入門	1	2	○		
	東南アジア入門	1	2	○		
	現代のアジア	2	2	○		
	オセアニア入門	1	2	○		
	現代のオセアニア	2	2	○		
	グローバルサウス論	2	2	○		
	日本文化入門A	1	2	○		
	日本文化入門B	1	2	○		
	ホスピタリティ論	2	2	○		
	ポップカルチャー論	2	2	○		
	韓国の社会と文化	2	2	○		
	英語学概論A	2	2	○		
	英語学概論B	2	2	○		
	英語文学入門A	1	2	○		
	英語文学入門B	1	2	○		
	英語児童文学	1	2	○		
	英語で紹介する日本A	1	2	○		
	英語で紹介する日本B	1	2	○		
	第二言語習得概論 I	2	2	○		
	第二言語習得概論 II	2	2	○		
	English for Study Abroad A	1	2	○		
English for Study Abroad B	1	2	○			
English as an International Language	2	2	○			
English for Integrated Learning I	2	2	○			
English for Integrated Learning II	2	2	○			
English for Intercultural Understanding	2	2	○			
留学準備講座	2	2	○			

学科専門科目	ゼミナール	基礎ゼミナールⅠ	2	2				○		
		基礎ゼミナールⅡ	2	2				○		
		ゼミナールⅠ	3	2				○		
		ゼミナールⅡ	3	2				○		
		ゼミナールⅢ	4	2				○		
		ゼミナールⅣ	4	2				○		
学科基礎科目		子ども家庭福祉	1	2				○		
		保育教育原理	1	2				○		
		教育思想史	1	2				○		
		キリスト教人間形成論	3		2			○		
		キリスト教保育	3		2			○		
子ども教育基幹科目		子どもソーシャルワーク	3		2			○		
		子どもの臨床心理学	2		2			○		
		感情とコミュニケーションの心理学	2		2			○		
		インクルーシブ教育	3		2			○		
		子どもと自然	2		2			○		
		児童発達心理学	2		2			○		
		世界の子ども教育	2		2			○		
		子どもと国際社会	2		2			○		
		Speaking English with Children	3		2			○		
		多文化社会論	2		2			○		
		異文化間コミュニケーション入門	1		2			○		
		Education around the World	2		2			○		
		子どもの感性とアート	2		2			○		
		子どものアートとサイエンス	3		2			○		
		子どもと文化	2		2			○		
		アートプロジェクト論	2		2			○		
		あそびと創造のデザイン学	2		2			○		
		子どもとパフォーマンスアーツ	2		2			○		
		子どもフィールドワークA	3		2				○	
		子どもフィールドワークB	3		2				○	
	子どもフィールドワークC	2		2				○		
の本質・理解・科目目的		保育者論	1		2			○		
		子ども家庭支援論	2		2			○		
		社会的養護Ⅰ	2		2			○		
		社会福祉	1		2			○		
対象の理解科目		教育社会学(子ども)	2		2			○		
		子どもの心理と発達Ⅰ	2		2			○		
		子どもの心理と発達Ⅱ	2		2				○	
		子ども家庭支援の心理学	3		2			○		
		教育相談(子ども)	3		2			○		
		子どもの保健	2		2			○		
		子どもの食と栄養	2		2				○	
内容・方法及び指導法の科目		保育・教育課程論	4	2				○		
		保育内容総論	1		2				○	
		保育内容各論(健康)	2		2				○	
		保育内容各論(人間関係)	1		2				○	
		保育内容各論(環境)	1		2				○	
		保育内容各論(言葉)	2		2				○	
		保育内容各論(表現)	2		2				○	
		幼児の理解と教育の方法	2		2			○		
		乳児保育Ⅰ	2		2			○		
		乳児保育Ⅱ	3		2				○	
		子どもの健康と安全	2		2				○	
		特別支援保育論	2	2					○	
		社会的養護Ⅱ	3		2				○	
		子育て支援	3		2				○	
		保育の基礎技能	1		2				○	

	保育内容（健康）の指導法	3		2			○	
	保育内容（人間関係）の指導法	2		2			○	
	保育内容（環境）の指導法	2		2			○	
	保育内容（言葉）の指導法	3		2			○	
	保育内容（音楽表現）の指導法	3		2			○	
	保育内容（造形表現）の指導法	3		2			○	
	保育内容（身体表現）の指導法	3		2			○	
専門 実習 ・ 演習	教育実習Ⅰ	3		2				○
	教育実習Ⅱ	4		2				○
	教育実習指導Ⅰ	3		1			○	
	教育実習指導Ⅱ	4		1			○	
	保育実習ⅠA（保育所）	2		2				○
	保育実習ⅠB（施設）	3		2				○
	保育実習Ⅱ（保育所）	4		2				○
	保育実習Ⅲ（施設）	4		2				○
	保育実習指導ⅠA	2		1			○	
	保育実習指導ⅠB	2		1			○	
	保育実習指導Ⅱ	4		1			○	
	保育実習指導Ⅲ	4		1			○	
	保育・教職実践演習（幼稚園）	4		2			○	

△資格課程科目

注：配当年次は履修最低年次を示す。

(3) 国際学科教育課程

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実習		
学部共通科目	基礎キリスト教	キリスト教概論	1	2		○				
		キリスト教文化史	2		2	○				
		旧約聖書	2		2	○				
		新約聖書	2		2	○				
		東洋英和の歴史	2		2	○				
		フレッシュマン・セミナーⅠ	1	1			○			
		フレッシュマン・セミナーⅡ	1	1			○			
	科目	ライフデザイン・ウェルネス	ライフデザイン	1	2		○			
			ジェンダースタディーズA	2		2	○			
			ジェンダースタディーズB	2		2	○			
		ジェンダースタディーズC	2		2	○				
		ビジネスと社会A	2		2	○				
		ビジネスと社会B	2		2	○				
		ビジネスと社会C	2		2	○				
		キャリアデザイン	2		2	○				
		健康科学(講義・実技)	1		2	○		○		
		スポーツ科学A	1		1			○		
	スポーツ科学B	1		1			○			
	スポーツ科学C	1		1			○			
情報メディア	基礎情報科学Ⅰ	1	2			○				
	基礎情報科学Ⅱ	1	2			○				
	メディア演習A	2		2			○			
	メディア演習B	2		2			○			
	メディア演習C	2		2			○			
コミュニケーションスキルズ科目	Freshman English AⅠ	1	1				○			
	Freshman English AⅡ	1	1				○			
	Freshman English BⅠ	1	1				○			
	Freshman English BⅡ	1	1				○			
	Sophomore English AⅠ	2	1				○			
	Sophomore English AⅡ	2	1				○			
	Sophomore English BⅠ	2	1				○			
	Sophomore English BⅡ	2	1				○			
	TOEIC対策講座	2		1			○			
	海外英語実習	1		2				○		
	フランス語(ベーシック)Ⅰ	1		2			○		履修することについてはⅠ・Ⅱを同一年度に	
	フランス語(ベーシック)Ⅱ	1		2			○			
	フランス語(アドバンス)	1		2			○			
	ドイツ語(ベーシック)Ⅰ	1		2			○			
	ドイツ語(ベーシック)Ⅱ	1		2			○			
	ドイツ語(アドバンス)	1		2			○			
	スペイン語(ベーシック)Ⅰ	1		2			○			
	スペイン語(ベーシック)Ⅱ	1		2			○			
	スペイン語(アドバンス)	1		2			○			
	中国語(ベーシック)Ⅰ	1		2			○			
中国語(ベーシック)Ⅱ	1		2			○				
中国語(アドバンス)	1		2			○				
韓国語(ベーシック)Ⅰ	1		2			○				
韓国語(ベーシック)Ⅱ	1		2			○				
韓国語(アドバンス)	1		2			○				
手話(ベーシック)Ⅰ	1		2			○				
手話(ベーシック)Ⅱ	1		2			○				
手話(アドバンス)	1		2			○				

	日本語A I	1		1		○		に留 準学 めた ず生 者お 対と 象よ 科大 目学 がそ れ
	日本語A II	1		1		○		
	日本語B I	1		1		○		
	日本語B II	1		1		○		
	日本語C I	1		1		○		
	日本語C II	1		1		○		
	コミュニケーション英文法	2		2		○		
	English for Communication and Discussion	2		2		○		
	Presenting in English	3		2		○		
	English for World Affairs	2		2		○		
	English for Tourism	2		2		○		
	English for Business	2		2		○		
	English for Journalism	2		2		○		
	Airline English	2		2		○		
	Psychology in Romance Movies	2		2		○		
	Culture and History through Movies	2		2		○		
	Exploring Novels through Movies	2		2		○		
	English in Pop Culture	1		2		○		
	English through Music	1		2		○		
	コミュニケーションのための韓国語	2		2		○		
	ポップカルチャーから学ぶ韓国語	2		2		○		
	留学のための韓国語	2		2		○		
共通 教養 科目	日本国憲法	1		2		○		
	哲学概論	2		2		○		
	倫理と人権	1		2		○		
	健康心理学	2		2		○		
	教養のための歴史	1		2		○		
	生命と人間の歴史	2		2		○		
	教養のための自然科学	1		2		○		
	教養のための芸術A	1		2		○		
	教養のための芸術B	1		2		○		
アク ティ ブ ・ ラー ニン グ 科 目	フィールドワークA	2		2		○		
	フィールドワークB	2		2		○		
	フィールドワークC	2		2		○		
	プロジェクト学習A	2		2		○		
	プロジェクト学習B	2		2		○		
	プロジェクト学習C	2		2		○		
	プロジェクト学習D	2		2		○		
	プロジェクト学習E	2		2		○		
	プロジェクト学習F	2		2		○		
	海外研修A	2		2		○	○	
	海外研修B	2		2		○	○	
	歴史文化研修A	2		2		○	○	
	歴史文化研修B	2		2		○	○	
	インターンシップ	2		2		○	○	
共通 資格 科目	博物館概論	2		2		○	△	
	博物館資料論	2		2		○	△	
	博物館資料保存論	2		2		○	△	
	博物館教育論	2		2		○	△	
	博物館情報・メディア論	2		2		○	△	
	博物館経営論	2		2		○	△	
	博物館展示論	2		2		○	△	
	博物館実習 I	3		1			○ △	
	博物館実習 II	3		2			○ △	
	生涯学習概論	2		2		○	△	
	生活のなかの図書館	1		2		○	△	
	図書館情報技術論	2		2		○	△	
	図書館制度・経営論	3		2		○	△	

	生涯学習社会と図書館サービス	2			2	○			△
	情報サービス論	3			2	○			△
	情報資源組織論	3			2	○			△
	情報資源組織演習Ⅰ	3			1		○		△
	情報資源組織演習Ⅱ	3			1		○		△
	子どもの読書支援	3			2	○			△
	情報サービス演習Ⅰ	3			1		○		△
	情報サービス演習Ⅱ	3			1		○		△
	図書館の比較文化論	2			2	○			△
	図書館情報資源概論	2			2	○			△
	図書・図書館史	1			2	○			△
	図書館情報資源特論	2			2	○			△
	社会調査の基礎	1			2	○			△
	社会調査法	1			2	○			△
	データで読む社会	2			2	○			△
	統計学	2			2	○			△
	フィールド調査法	2			2		○		△
	社会調査演習Ⅰ	3			2		○		△
	社会調査演習Ⅱ	3			2		○		△
	日本語教育法AⅠ	1			2	○			△
	日本語教育法AⅡ	1			2	○			△
	日本語教育法BⅠ	2			2	○			△
	日本語教育法BⅡ	2			2	○			△
	日本語教育法CⅠ	2			2	○			△
	日本語教育法CⅡ	2			2	○			△
	日本語教育法DⅠ	2			2	○			△
	日本語教育法DⅡ	2			2	○			△
	日本語教育法EⅠ	2			2	○			△
	日本語教育法EⅡ	2			2	○			△
	教職の理解	2			2	○			△
	教育課程論	2			2	○			△
	道徳教育の理論と実践	2			2	○			△
	特別活動と総合的な学習の時間	2			2	○			△
	教育の方法と技術	2			2	○			△
	生徒・進路指導の理論と方法	2			2	○			△
	ICT演習	2			2		○		△
	学校体験	2			1			○	△
	介護等体験	3			1			○	△
	教育実習Ⅰ	4			1			○	△
	教育実習Ⅱ	4			2			○	△
	教育実習Ⅲ	4			2			○	△
	教職実践演習(中・高)	4			2		○		△
	教育社会学(中・高)	2			2	○			△
教養科目 (総合心理学 学科オー ブ ン科目)	心理学概論Ⅰ	1			2	○			
	心理学概論Ⅱ	1			2	○			
	社会学概論Ⅰ	1			2	○			
	社会学概論Ⅱ	1			2	○			
	宗教学概論Ⅰ	1			2	○			
	宗教学概論Ⅱ	1			2	○			
	教育学概論Ⅰ	1			2	○			
	教育学概論Ⅱ	1			2	○			
	科学概論	1			2	○			
	臨床心理学概論	1			2	○			
	発達心理学	1			2	○			
	教育心理学	2			2	○			
	青年心理学	2			2	○			
	メディア心理学	2			2	○			
	恋愛心理学	3			2	○			

	児童発達心理学	2	2	○		
	感情・人格心理学	2	2	○		
	神経・生理心理学	2	2	○		
	障害者・障害児心理学	2	2	○		
	学習・言語心理学	2	2	○		
	知覚・認知心理学	1	2	○		
	社会・集団・家族心理学	2	2	○		
	色彩・造形心理学	2	2	○		
	親子の臨床心理学	2	2	○		
	発達心理学各論A	2	2	○		
	心理学特殊講義	2	2	○		
	対人社会心理学	2	2	○		
	臨床心理学各論A	3	2	○		
	臨床心理学各論B	2	2	○		
	臨床心理学各論C	2	2	○		
	家族関係論	1	2	○		
	家族と社会	1	2	○		
	宗教社会学	2	2	○		
	死生学概論	1	2	○		
	生命倫理	2	2	○		
	女性教育論	2	2	○		
	教育相談（中・高）	3	2	○		
	特別支援教育	3	2	○		
	教育工学	3	2	○		
	AI概論	2	2	○		
	AI演習	2	2	○	○	
教養科目 （子ども教育学科オープン科目）	キリスト教人間形成論	3	2	○		
	キリスト教保育	3	2	○		
	教育思想史	1	2	○		
	保育教育原理	1	2	○		
	保育者論	1	2	○		
	子ども家庭支援論	2	2	○		
	社会的養護Ⅰ	2	2	○		
	子ども家庭支援の心理学	3	2	○		
	子どもの心理と発達Ⅰ	2	2	○		
	幼児の理解と教育の方法	2	2	○		
	乳児保育Ⅰ	2	2	○		
	子ども家庭福祉	1	2	○		
	社会福祉	1	2	○		
	子どもソーシャルワーク	3	2	○		
	インクルーシブ教育	3	2	○		
	子どもと自然	2	2	○		
	世界の子ども教育	2	2	○		
	子どもと国際社会	2	2	○		
	Speaking English with Children	3	2	○		
	子どもの感性とアート	2	2	○		
	子どものアートとサイエンス	3	2	○		
	子どもと文化	2	2	○		
	アートプロジェクト論	2	2	○		
	あそびと創造のデザイン学	2	2	○		
	子どもとパフォーマンスアーツ	2	2	○		
	子どもフィールドワークA	3	2		○	
	子どもフィールドワークB	3	2		○	
子どもフィールドワークC	2	2		○		
学科専門科	ゼミナール					
	基礎ゼミナールⅠ	2	2		○	
	基礎ゼミナールⅡ	2	2		○	
	ゼミナールⅠ	3	2		○	
	ゼミナールⅡ	3	2		○	

	ゼミナールⅢ	4	2				○		
	ゼミナールⅣ	4	2				○		
学科 基礎 科目	21世紀の国際社会をみる視点	1	2				○		
	国際社会学	1	2				○		
	外国史概説	1		2			○		
	日本史概説	1		2			○		
	人文地理学	1		2			○		
	自然地理学	1		2			○		
	世界地誌	1		2			○		
国際 関係 関連 科目	法学	1		2			○		
	国際関係入門	1		2			○		
	政治学	1		2			○		
	マクロ経済学	1		2			○		
	ミクロ経済学	1		2			○		
	ニュースを読む	2		2			○		
	国際協力論	2		2			○		
	国際関係史	2		2			○		
	国際関係論	2		2			○		
	国際機構論	2		2			○		
	国際経済論	2		2			○		
	国際法	2		2			○		
	地球規模問題	3		2			○		
	安全保障論	3		2			○		
公共政策論	3		2			○			
異 文化 理解 関連 科目	観光と社会	2		2			○		
	多様性の社会思想	1		2			○		
	多文化社会論	2		2			○		
	宗教と国際社会	2		2			○		
	異文化間コミュニケーション入門	1		2			○		
	文化人類学	1		2			○		
	比較文化論	2		2			○		
	グローバル時代のコミュニケーション	2		2			○		
グローバリゼーションと文化	2		2			○			
外国 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 関 連 科 目	英語学概論A	2		2			○		
	英語学概論B	2		2			○		
	英語文学入門A	1		2			○		
	英語文学入門B	1		2			○		
	英語児童文学	1		2			○		
	英語で紹介する日本A	1		2			○		
	英語で紹介する日本B	1		2			○		
	第二言語習得概論Ⅰ	2		2			○		
	第二言語習得概論Ⅱ	2		2			○		
	通訳トレーニング	3		2			○		
	翻訳トレーニング	3		2			○		
	English for Study Abroad A	1		2			○		
	English for Study Abroad B	1		2			○		
	English as an International Language	2		2			○		
	English for Integrated Learning Ⅰ	2		2			○		
English for Integrated Learning Ⅱ	2		2			○			
Education around the World	2		2			○			
English for Intercultural Understanding	2		2			○			
留学準備講座	2		2			○			
エ リ ア ス タ デ ィ	北米入門	1		2			○		
	現代の北米	2		2			○		
	ヨーロッパ・EU入門	1		2			○		
	現代のヨーロッパ・EU	2		2			○		
	北東アジア入門	1		2			○		
	東南アジア入門	1		2			○		

ーズ科目	現代のアジア	2	2	○			
	オセアニア入門	1	2	○			
	現代のオセアニア	2	2	○			
	グローバルサウス論	2	2	○			
	日本文化入門A	1	2	○			
	日本文化入門B	1	2	○			
	ホスピタリティ論	2	2	○			
	ポップカルチャー論	2	2	○			
	韓国の社会と文化	2	2	○			
学科 教職科目	社会科・公民科教育法Ⅰ	3	2	○			
	社会科・公民科教育法Ⅱ	3	2		○		
	社会科・地歴科教育法Ⅰ	3	2	○			
	社会科・地歴科教育法Ⅱ	3	2		○		
	英語科教育法Ⅰ	3	2	○			
	英語科教育法Ⅱ	3	2	○			
	英語科教育法Ⅲ	3	2		○		
	英語科教育法Ⅳ	3	2		○		

△資格課程科目

注：配当年次は履修最低年次を示す。

教科に関する専門的事項等

各教科の指導法に関する科目

大学が独自に設定する科目

教職の基礎的理解に関する科目等

別表2-(1)

保育士資格課程科目

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	
保育士資格課程科目	必修科目	保育教育原理	1	2			○		
		教育思想史	1	2			○		
		子ども家庭福祉	1	2			○		
		社会福祉	1	2			○		
		子ども家庭支援論	2	2			○		
		社会的養護Ⅰ	2	2			○		
		保育者論	1	2			○		
		子どもの心理と発達Ⅰ	2	2			○		
		子どもの心理と発達Ⅱ	2	2				○	
		子ども家庭支援の心理学	3	2			○		
		子どもの保健	2	2			○		
		子どもの食と栄養	2	2				○	
		保育・教育課程論	4	2			○		
		保育内容総論	1	2				○	
		保育内容各論（健康）	2	2				○	
		保育内容各論（人間関係）	1	2				○	
		保育内容各論（環境）	1	2				○	
		保育内容各論（言葉）	2	2				○	
		保育内容各論（表現）	2	2				○	
		乳児保育Ⅰ	2	2			○		
		乳児保育Ⅱ	3	2				○	
		子どもの健康と安全	2	2				○	
		特別支援保育論	2	2				○	
		社会的養護Ⅱ	3	2				○	
		子育て支援	3	2				○	
		保育内容（健康）の指導法	3	2				○	
		保育内容（人間関係）の指導法	2	2				○	
		保育内容（環境）の指導法	2	2				○	
		保育内容（言葉）の指導法	3	2				○	
		保育内容（音楽表現）の指導法	3		2			○	このうちから2単位を選択
		保育内容（造形表現）の指導法	3		2			○	
		保育内容（身体表現）の指導法	3		2			○	
		保育実習ⅠA（保育所）	2	2					○
	保育実習ⅠB（施設）	3	2					○	
	保育実習指導ⅠA	2	1				○		
	保育実習指導ⅠB	2	1				○		
	保育・教職実践演習（幼稚園）	4	2				○		
	合計		66	2					

（注）告示により指定された科目はすべての系列にわたり全科目必修で51単位であるが、本学では上表のとおり66単位及び選択必修2単位を履修すること

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	
保育士資格課程科目	質・育の目的に 関する科目	子どもと国際社会	2		2		○		このうちから6単位を選択
		世界の子ども教育	2		2		○		
		子どもの感性とアート	2		2		○		
	解に育の対する対象の科目理	教育社会学（保育）	2		2		○		
		子どもの臨床心理学	2		2		○		
		子どもフィールドワークA	3		2			○	
		子どもフィールドワークB	3		2			○	
		子どもフィールドワークC	2		2			○	
	法に育の関する内容科・目方	Speaking English with Children	3		2		○		
		子どもソーシャルワーク	3		2		○		
		子どものアートとサイエンス	3		2		○		
		子どもと文化	2		2		○		
		キリスト教保育	3		2		○		
	保育実習	保育実習Ⅱ（保育所）	4		2			○	
保育実習指導Ⅱ		4		1			○		
保育実習Ⅲ（施設）		4		2			○		
保育実習指導Ⅲ		4		1			○		
合 計				32					

(注) 本学では上表のとおり9単位を選択履修すること

(注) 上表のほかに、学部共通科目において「健康科学（講義・実技）」2単位、
「スポーツ科学AまたはBまたはC」から1単位を履修すること

別表 2 - (2)

幼稚園教諭一種免許課程科目

授 業 科 目		配当年次	単位数			授業形態			備考
区分	分野・系		名称	必修	選択	自由	講義	演習	
領域及び保育内容の指導法に関する科目	専門的事項に関する専	保育内容各論（健康）	2	2				○	
		保育内容各論（人間関係）	1	2				○	
		保育内容各論（環境）	1	2				○	
		保育内容各論（言葉）	2	2				○	
		保育内容各論（表現）	2	2				○	
	合計			10					
	保育内容の指導法	保育内容（健康）の指導法	3	2				○	
		保育内容（人間関係）の指導法	2	2				○	
		保育内容（環境）の指導法	2	2				○	
		保育内容（言葉）の指導法	3	2				○	
		保育内容（音楽表現）の指導法	3	2				○	
		保育内容（造形表現）の指導法	3	2				○	
	保育内容（身体表現）の指導法		3	2				○	
	合計			14					
科目に大学が独自の	保育の基礎技能	1	2				○		
	子ども家庭福祉	1	2			○			
合計			4						
教育の基礎理解に	教育思想史	1	2			○			
	保育教育原理	1	2			○			
	保育者論	1	2			○			
	教育社会学（子ども）	2	2			○			
	子どもの心理と発達Ⅰ	2	2			○			
	子どもの心理と発達Ⅱ	2	2				○		
	特別支援保育論	2	2				○		
	保育・教育課程論	4	2			○			
道徳、総合的な学習の時間、等価的指導に関する科目	幼児の理解と教育の方法	2	2			○			
	教育相談（子ども）	3	2			○			
教育実践に関する科目	教育実習指導Ⅰ	3	1				○		
	教育実習指導Ⅱ	4	1				○		
	教育実習Ⅰ	3	2					○	
	教育実習Ⅱ	4	2					○	
	保育・教職実践演習（幼稚園）	4	2				○		
合計			28						

(注) 上表の科目のほか、学部共通科目において「日本国憲法」2単位、「健康科学（講義・実技）」2単位、

「Sophomore EnglishAI・II、BI・II」4単位、「基礎情報科学Ⅰ・Ⅱ」4単位を履修すること。

別表2－(3)

中学校教諭一種（社会）免許課程科目（総合心理学科適用）

高等学校教諭一種（公民）免許課程科目（総合心理学科適用）

授 業 科 目			配当年次	単位数				授業形態			備考
区分	分野 ・系	名 称		中学		高等学校		講 義	演 習	実 習	
				必 修	選 択	必 修	選 択				
中学校教諭一種（社会） 免許課程科目・高等学校教諭一種（公民） 免許課程科目	教科及び教科の指導法に関する科目	日本史概説	1	2				○			
		外国史概説	1	2				○			
		人文地理学	1	2				○			
		自然地理学	1	2				○			
		世界地誌	1	2				○			
		法学	1	2		2		○			
		政治学	1		2	2		○			
		社会調査演習Ⅰ	3		2	2			○		
		社会調査演習Ⅱ	3		2	2			○		
		社会調査法	1		2	2		○			
		社会学概論Ⅰ	1	2		2		○			
		社会学概論Ⅱ	1		2	2		○			
		ジェンダースタディーズB	2		2	2		○			
		家族と社会	1		2	2		○			
		家族関係論	1		2	2		○			
		文化人類学	1		2	2		○			
		哲学概論	2	2		2		○			
		生命倫理	2		2	2		○			
		宗教学概論Ⅰ	1	2		2		○			
		宗教学概論Ⅱ	1		2	2		○			
宗教社会学	2		2	2		○					
死生学概論	1		2	2		○					
臨床死生学	3		2	2		○					
発達心理学	1			2		○					
メディア心理学	2			2		○					
社会・集団・家族心理学	2			2		○					
知覚・認知心理学	1			2		○					
対人社会心理学	2			2		○					
臨床心理学概論	1			2		○					
臨床心理学各論B	2			2		○					
臨床心理学各論C	2			2		○					
親子の臨床心理学	2			2		○					
司法・犯罪心理学	2			2		○					
社会科・地歴科教育法Ⅰ	3	2				○					
社会科・地歴科教育法Ⅱ	3	2					○				
社会科・公民科教育法Ⅰ	3	2		2		○					
社会科・公民科教育法Ⅱ	3	2		2			○				

教科に関する専門的事項

各教科の指導法に関する科目

大学が独自に設定する科目

教職の基礎的理解に関する科目等

中学校教諭一種（社会）免許課程科目（国際学科適用）

高等学校教諭一種（地歴）免許課程科目（国際学科適用）

高等学校教諭一種（公民）免許課程科目（国際学科適用）

中学校教諭一種（英語）免許課程科目（国際学科適用）

高等学校教諭一種（英語）免許課程科目（国際学科適用）

授 業 科 目			配当年次	単位数				授業形態			備考
区分	分野・系	名 称		中学		高等学校		講義	演習	実習	
				必修	選択	必修	選択				
高等学校教諭一種（社会）免許課程科目・	教科及び教科の指導法に関する科目	日本史概説	1	2		2		○			
		外国史概説	1	2		2		○			
		国際関係史	2		2		2		○		
		人文地理学	1	2		2		○			
		自然地理学	1	2		2		○			
		北米入門	1		2		2		○		
		現代の北米	2		2		2		○		
		ヨーロッパ・EU入門	1		2		2		○		
		現代のヨーロッパ・EU	2		2		2		○		
		北東アジア入門	1		2		2		○		
		韓国の社会と文化	2		2		2		○		
		東南アジア入門	1		2		2		○		
		現代のアジア	2		2		2		○		
		グローバルサウス論	2		2		2		○		
		オセアニア入門	1		2		2		○		
		現代のオセアニア	2		2		2		○		
		世界地誌	1	2		2		○			
社会科・地歴科教育法Ⅰ	3	2		2		○					
社会科・地歴科教育法Ⅱ	3	2		2			○				
高等学校教諭一種（社会）免許課程科目・	教科及び教科の指導法に関する科目	法学	1	2		2		○			
		政治学	1		2		2		○		
		国際関係入門	1		2		2		○		
		国際関係論	2		2		2		○		
		安全保障論	3		2		2		○		
		国際機構論	2		2		2		○		
		国際協力論	2		2		2		○		
		国際法	2		2		2		○		
		公共政策論	3		2		2		○		
		マクロ経済学	1	2		2		○			
		ミクロ経済学	1	2		2		○			
		国際経済論	2		2		2		○		
		地球規模問題	3		2		2		○		
		国際社会学	1		2		2		○		
		データで読む社会	2		2		2		○		
		多様性の社会思想	1		2		2		○		
		多文化社会論	2		2		2		○		
		社会調査法	1		2		2		○		
		フィールド調査法	2		2		2			○	
		哲学概論	2	2		2		○			
宗教と国際社会	2		2		2		○				
宗教社会学	2		2		2		○				
倫理と人権	1		2		2		○				
メディア心理学	2		2		2		○				
社会科・公民科教育法Ⅰ	3	2		2		○					
社会科・公民科教育法Ⅱ	3	2		2			○				
高等学校教諭一種（英語）免許課程科目・	教科及び教科	英語学概論A	2	2		2		○			
		英語学概論B	2		2		2		○		
		英語文学入門A	1	2		2		○			
		英語文学入門B	1		2		2		○		

教諭一種(英語) 免許課程科目・ 免許課程科目	教科の指導法に関する科目	コミュニケーション英文法	2		2		2	○			
		English for Study Abroad A	1		2		2	○			
		English for Study Abroad B	1		2		2	○			
		English for Integrated Learning I	2	2		2		○			
		English for Integrated Learning II	2		2		2	○			
		English as an International Language	2		2		2	○			
		通訳トレーニング	3		2		2	○			
		翻訳トレーニング	3		2		2	○			
		English for Communication and Discussion	2		2		2	○			
		Presenting in English	3		2		2	○			
		English for Intercultural Understanding	2		2		2	○			
		Education around the World	2		2		2	○			
		異文化間コミュニケーション入門	1	2		2		○			
		グローバル時代のコミュニケーション	2		2		2	○			
		グローバリゼーションと文化	2		2		2	○			
		第二言語習得概論 I	2	2		2		○			
		第二言語習得概論 II	2	2		2		○			
		英語科教育法 I	3	2		2		○			
		英語科教育法 II	3	2				○			
		英語科教育法 III	3	2		2			○		
英語科教育法 IV	3	2					○				

- 教科に関する専門的事項等
- 各教科の指導法に関する科目
- 大学が独自に設定する科目
- 教職の基礎的理解に関する科目等

中学校教諭一種（社会）免許課程科目（総合心理学科適用）
 高等学校教諭一種（公民）免許課程科目（総合心理学科適用）
 中学校教諭一種（社会）免許課程科目（国際学科適用）
 高等学校教諭一種（地歴）免許課程科目（国際学科適用）
 高等学校教諭一種（公民）免許課程科目（国際学科適用）

授 業 科 目			配当年次	単位数				授業形態			備考
区分	分野・系	名 称		中学		高等学校		講義	演習	実習	
				必修	選択	必修	選択				
目 高 中 学 校 教 諭 一 種 （ 社 会 ） 免 許 課 程 科 目 ・ 免 許 課 程 科 目	大 学 が 独 自 に 設 定 す る 科 目	介護等体験	3	1					○		
		ICT演習	2	2		2			○		

中学校教諭一種（英語）免許課程科目（国際学科適用）
 高等学校教諭一種（英語）免許課程科目（国際学科適用）

授 業 科 目			配当年次	単位数				授業形態			備考
区分	分野・系	名 称		中学		高等学校		講義	演習	実習	
				必修	選択	必修	選択				
目 高 中 学 校 教 諭 一 種 （ 英 語 ） 免 許 課 程 科 目 ・ 免 許 課 程 科 目	大 学 が 独 自 に 設 定 す る 科 目	介護等体験	3	1					○		
		ICT演習	2	2		2			○		
		英語で紹介する日本A	1		2		2	○			
		英語で紹介する日本B	1		2		2	○			

教科に関する専門的事項
 各教科の指導法に関する科目
 大学が独自に設定する科目
 教職の基礎的理解に関する科目等

中学校教諭一種（社会）免許課程科目（総合心理学科適用）
 高等学校教諭一種（公民）免許課程科目（総合心理学科適用）
 中学校教諭一種（社会）免許課程科目（国際学科学科適用）
 高等学校教諭一種（地歴）免許課程科目（国際学科適用）
 高等学校教諭一種（公民）免許課程科目（国際学科適用）
 中学校教諭一種（英語）免許課程科目（国際学科適用）
 高等学校教諭一種（英語）免許課程科目（国際学科適用）

授 業 科 目		配当年次	単位数				授業形態			備考
区分	分野・系		中学		高等学校		講義	演習	実習	
			必修	選択	必修	選択				
高等学校教諭一種（社会・公民・英語・地歴・免許課程科目・課程科目）	教育の基礎的理解に関する科目等	教育学概論Ⅰ	1	2		2		○		
		教職の理解	2	2		2		○		
		教育社会学（中・高）	2	2		2		○		
		教育心理学	2	2		2		○		
		特別支援教育	3	2		2		○		
		教育課程論	2	2		2		○		
		道徳教育の理論と実践	2	2				○		
		特別活動と総合的な学習の時間	2	2		2		○		
		教育の方法と技術	2	2		2		○		
		生徒・進路指導の理論と方法	2	2		2		○		
		教育相談（中・高）	3	2		2		○		
		学校体験	2	1		1				○
		教育実習Ⅰ	4	1		1				○
		教育実習Ⅱ	4	2		2				○
		教育実習Ⅲ	4	2						○
教職実践演習（中・高）	4	2		2			○			

（注）上表の科目のほかに、学部共通科目において「日本国憲法」2単位、「スポーツ科学A・B・C」または「健康科学（講義・実技）」2単位、「Sophomore English AⅠ・Ⅱ、BⅠ・Ⅱ」4単位、「基礎情報科学Ⅰ・Ⅱ」4単位を履修すること。

教科に関する専門的事項
 各教科の指導法に関する科目
 大学が独自に設定する科目
 教職の基礎的理解に関する科目等

別表 2 - (4)

学芸員資格課程科目

科目区分	分野・系	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実習	
学芸員課程科目	必修科目	博物館概論	2・3	2			○			
		博物館資料論	2・3	2			○			
		博物館資料保存論	2・3	2			○			
		博物館教育論	2・3	2			○			
		生涯学習概論	2・3・4	2			○			
		博物館情報・メディア論	2・3・4	2			○			
		博物館経営論	2・3	2			○			
		博物館展示論	2・3	2			○			
		博物館実習Ⅰ	3・4	1					○	
		博物館実習Ⅱ	3・4	2					○	

別表 2 - (5)

日本語教育課程科目

科目区分	分野・系	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実習		
日本語教育基礎課程科目	必修科目	日本語教育法A I	1・2	2			○				
		日本語教育法A II	1・2	2			○				
		日本語教育法B I	2・3	2			○				
		日本語教育法B II	2・3	2			○				
		日本語教育法C I	2・3	2			○				
		日本語教育法C II	2・3	2			○				
		日本語教育法D I	2・3・4	2			○				
		日本語教育法D II	2・3・4	2			○				
	日本語教育法E I	2・3・4	2			○					
	日本語教育法E II	2・3・4	2			○					
	選択必修科目	日本文化・社会	日本史概説	1・2		2		○			このうちから4単位以上を選択
			英語で紹介する日本A	1・2		2		○			
			英語で紹介する日本B	1・2		2		○			
			日本文化入門A	1・2		2		○			
			日本文化入門B	1・2		2		○			
ポップカルチャー論		2・3		2		○					
異文化理解		異文化間コミュニケーション入門	1・2		2		○			このうちから4単位以上を選択	
	多様性の社会思想	1		2		○					
	比較文化論	2・3		2		○					
	多文化社会論	2・3		2		○					
	グローバル時代のコミュニケーション	2・3・4		2		○					
宗教と国際社会	2・3・4		2		○						

別表 2 - (6)

司書資格課程科目

科目区分	分野・系	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実習	
司書課程科目	甲群 (必修科目)	生涯学習概論	2・3・4	2			○			
		生活のなかの図書館	1・2・3・4	2			○			
		図書館情報技術論	2・3・4	2			○			
		図書館制度・経営論	3・4	2			○			
		生涯学習社会と図書館サービス	2・3・4	2			○			
		情報サービス論	3・4	2			○			
		情報資源組織論	3・4	2			○			
		情報資源組織演習 I	3・4	1				○		
		情報資源組織演習 II	3・4	1				○		
		子どもの読書支援	3・4	2			○			
		情報サービス演習 I	3・4	1				○		
		情報サービス演習 II	3・4	1				○		
		図書館情報資源概論	2・3・4	2			○			
		乙群 (選択科目)	図書館の比較文化論	2・3・4		2		○		
図書・図書館史	1・2・3・4			2		○				
図書館情報資源特論	2・3・4			2		○				
メディア演習A	2・3・4			2			○			

(注) 甲群は全科目必修、乙群(選択科目)から2科目4単位を選択必修すること。

別表 3

- ・卒業に必要な単位数
- ・人間社会学部

(1) 総合心理学科

	卒業要件 最低単位数	内訳		備考
学部共通科目	30	必修 選択必修 選択	18 4 8	
学科専門科目	70	必修 選択必修 選択	26 28 16	
自由選択科目	24	<ul style="list-style-type: none"> ・学部共通科目、学科専門科目（他学科含む）、単位互換科目、その他認定科目から選択。 ・資格課程科目から14単位まで自由選択科目の単位数に算入することができる。 		
計	124			

(2) 子ども教育学科

	卒業要件 最低単位数	内訳		備考
学部共通科目	28	必修 選択必修	20 8	
学科専門科目	70	必修 選択必修 選択	22 22 26	
自由選択科目	26	<ul style="list-style-type: none"> ・学部共通科目、学科専門科目（他学科含む）、単位互換科目、その他認定科目から選択。 ・資格課程科目から14単位まで自由選択科目の単位数に算入することができる。 		
計	124			

(3) 国際学科

	卒業要件 最低単位数	内訳		備考
学部共通科目	36	必修 選択必修 選択	18 8 10	
学科専門科目	58	必修 選択必修 選択	16 16 26	
自由選択科目	30	<ul style="list-style-type: none"> ・学部共通科目、学科専門科目（他学科含む）、単位互換科目、その他認定科目から選択。 ・資格課程科目から14単位まで自由選択科目の単位数に算入することができる。 ・各種技能検定試験に合格し認定された単位を4単位まで自由選択科目の単位数に算入することができる。 		
計	124			